

平成24年雲南市議会 12月定例会一般質問通告一覧表

平成24年12月4日

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式)      | 項 目   | 要 旨   | 備 考 |
|----------|----------|---------------------|---|---|-----|
| 1        | 19       | 堀 江 治 之<br>(一問一答方式) | <p>1. 速水市政3期目の課題と対応策について</p> <p>2. 介護福祉の現状と今後の対応策について</p> <p>3. 休止されている「まちづくり総合支援事業・まちづくり交付金事業」の今後の対応について</p> <p>4. 雲南市に合併した6町村一体化の醸成について</p> | <p>① 速水市政3期目がスタートしたが、3期目の課題とその対応策は。</p> <p>② 3期目の雲南市政にどのような姿勢で臨むのか伺う。</p> <p>(1)高齢者介護の現状と対応策について</p> <p>① 少子高齢化の進行により、高齢化率も高率化してきており、それに伴い、介護を必要とする方が多くなっているが、介護施設と要介護者の現状と将来予想、その対応方針について伺う。</p> <p>(2)認知症の現状と対応策について</p> <p>① 高齢者の方が多くなると共に、認知症の発症者も多くなってきており、団塊の世代が今年から次々と高齢者(65歳)の仲間入りとなるが、認知症に対する介護施設と要介護者の現状と将来予想、その対応方針は。</p> <p>(1)休止された事業の事業量、事業費について</p> <p>① 休止事業の事業量・事業費について伺い、当時休止の地元説明に対する地元の反応はどうであったのか。</p> <p>(2)事業再開の考えについて</p> <p>① 財政事情により事業が休止されたが、財政非常事態宣言が解除された事に伴い、事業再開の考えについて伺う。</p> <p>(1)下水道の加入分担金の一元化について</p> <p>① 下水道の加入分担金がいまだ一元化されていない現状にあるが、その現状について伺う。</p> |     |

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式)   | 項<br>目   | 要<br>旨   | 備<br>考 |
|----------|----------|------------------|--|--|--------|
|          |          |                  |  | <p>② 今後一元化に向けての方針について伺う。</p> <p>③ 平成 18 年 8 月 1 日告示第 177 号 雲南市下水道事業負担金検討委員会設置要綱に基づき設置された検討委員会は、条例により設置されるべきであったと考えるが、市長の見解は。</p>   |        |
| 2        | 8        | 佐藤隆司<br>(一問一答方式) | <p>1. 雲南市の特徴を生かした町づくりについて</p> <p>2. 持続可能な経済対策について<br/>(雲南市ならではの対策)</p> | <p>(1) 斐伊川右岸側の河川敷地公園構想の状況について</p> <p>① 木次や三刀屋ほど町の中心部に緑が多く、しかも手入れがしてある街はそう多くない。斐伊川河川敷を生かした町づくりとさくらを生かした町づくりを進める上で、花と緑と川のある自然庭園と言っても良いほどの緑あふれる潤いのある市であり、その特徴を生かした町づくりが必要である。斐伊川右岸側の河川敷地公園構想は現在どのようになっているのか。</p> <p>② 地域自主組織の活動が 3 年を向かえ積極的な展開がされつつあるが、今一つ協働の町づくりの意味が市民活動に浸透していない。更なるしかも目に見える活動として花いっぱい運動を推進し春夏秋冬楽しめる地域づくりが必要では。</p> <p>(1) 新たな経済対策について</p> <p>① 市内中小企業者に対する緊急支援策は、極めて即効性はあるが一面ではバラマキであり、投じた費用に対する相乗効果・乗数効果は低いと考えるが見解を伺う。</p> <p>② 中・長期的な支援策として小技ではなく、少々荒技か大技での対策が必要では。</p> <p>例えば、住宅関連の支援、市内ポイントカードシステムの充実支援、固定価格買取制度を活用した太陽光発電の普及支援など。</p> <p>③ 市発注の公共事業の分離・分割発注による市内業者への受注機会の拡大を促すことが必要では。</p> |        |

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式)       | 項<br>目   | 要<br>旨  | 備<br>考 |
|----------|----------|----------------------|--|---|--------|
|          |          |                      | 3. 市民の健康増進について   | <p>例えば、「菅谷たたら山内」の施設保存修繕工事、新庁舎建設など。</p> <p>(1) 「健康(幸)のまち」宣言に向けて</p> <p>① 特に膝・腰痛を抱えられている市民の皆さんのデータは把握されているのか。</p> <p>② 市として積極的な取組みはされているのか。今後の計画はどうか。</p> <p>③ 市長の進められる3つの柱である『健康長寿・生涯現役』をより具体的に実効性のあるものにしていくために、『健康(幸)の町』宣言をする考えはないか。</p> <p>④ 地域自主組織の地域づくり活動の柱の一つとして、健康づくりを推進し展開されることが必要では。</p>   |        |
| 3        | 7        | 細 木 照 子<br>(一 括 方 式) | <p>1. 投票所設置箇所数の適否について</p> <p>2. 郵便等による投票の条件緩和について</p> <p>3. 介護難民について</p> <p>4. 生活道路の改良について</p> | <p>(1) 今回の選挙は4年前に比べて投票率が下がった。</p> <p>① その原因の中で、投票所の箇所数が減り、遠くなって、特に高齢者等が投票できなかった事が大きく考えられる。分析判断を伺う。</p> <p>(1) 現行の条件はあまりにも厳しすぎる。</p> <p>① 機会を見て、県や国へ条件緩和を働きかける考えがないか。</p> <p>(1) 県社協の推計では、8年後島根県で4173名の介護難民が出るという。</p> <p>① 介護難民を出さないためには、今から対応を考えないと間に合わない。考えを伺う。</p> <p>(1) 選挙カーで地元を隅々まで回ったが、地区の幹線道路を始め、枝線など全く改良の気配が見えない。</p> <p>① 合併前の町長約束はどこへ行ったのか。虚無感さえ漂う。市内生活道路の総括的改良見通しは。</p> |        |

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式) | 項<br>目                   | 要<br>旨  | 備<br>考 |
|----------|----------|----------------|--------------------------|---|--------|
|          |          |                | 5. 環太平洋連携協定<br>(TPP)について | (1)この協定を締結した場合、日本への影響がどのようなものか政府内でも意見が別れているようだ。<br>① 農業分野では、壊滅的な厳しい影響があるという見方もあるが、雲南市としての見解を伺う。   |        |
|          |          |                | 6. 畜産振興について              | (1)先の全国共進会で、しまね和牛は厳しい評価を受けた。<br>① 和牛飼育などは、行政や農協の指導がないと畜産農家だけがいくら努力しても限界がある。行政として、専門指導職員を置くくらいの意気込みはできないか。   |        |
|          |          |                | 7. 「いじめ」問題について           | (1)文部科学省の調査で、今年前半の小、中、高校のいじめ件数が去年の二倍を超えたという。学校のいじめ問題だけに、余計に深刻さを感じる。<br>① 戦後教育が必ずしも理想的なものでないと感じていただけに、何か反省しなくてはならないものを感じる。教育委員会の見解を伺う。                                     |        |
|          |          |                | 8. 公衆便所の数について            | (1)選挙で歩いてみたら、公衆便所の数が少ないと感じた。<br>① 誰しも高齢になると、便所へ行く回数が多くなる。雲南市には何ヶ所の公衆便所があるか。他の市町村と比べて多いか、少ないか。今後の対応も合わせて伺う。  |        |
| 4        | 21       | 藤原信宏<br>(一括方式) | 1. 財政の健全化について            | ① 交付税制度研究会を通して国に意見書を提出した。算定見直し案の実現の可能性に併せ、如何なる策を持って一本化算定による財政危機を乗り越える考えか問う。また、消費税増税が市財政に及ぼす影響をどの様に捉えているか。<br>② 基金の運用について、より利益の出る金融商品で運用すべきと考えるがどうか。土地開発基金が全く活用されていないがどうか。 |        |

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式) | 項<br>目             | 要<br>旨   | 備<br>考 |
|----------|----------|----------------|--------------------|--|--------|
|          |          |                | 2. 産業の振興と雇用の創出について | <p>③ 合併特例債を活用した新庁舎建設は経緯を鑑み、粛々と進めるべきと考えるがどうか。ついては、効率的で簡素な造りに徹すること、工事施工の利益を生む価額での市内業者発注とすることの考えは。</p> <p>④ 「医療と保健の融合による健康づくり拠点施設」については、健全財政を果たすまで、財政計画から取り下げてはどうか。</p> <p>⑤ 圧縮されている財政計画建設事業の緊急需要発生時には、どの様に対応する考えか。</p> <p>⑥ 地域活性化・文化体育等の類似施設の統廃合について方針を示すべき時と考えるがどうか。</p> <p>① 他の自治体との差別化を図る企業誘致助成制度の充実と、誘致活動の積極的推進・手法についての所見を問う。</p> <p>② 集落営農組織や担い手育成のために農業機械購入に対する補助金の拡充と融資を受ける際の利子助成の制度化等の考えは。</p> <p>③ 有害鳥獣対策について、被害防止対策補助や捕獲奨励の関連予算の確保と、減少するハンターを確保、育成するための狩猟免許取得・維持の助成制度を充実されたい。</p> <p>④ 6次産業を新たな地域産業の核と位置付け、新たな雇用の場を創出して、定住人口の増加を図る取り組みはどうか。</p> <p>⑤ 観光振興について、尾道松江線の全線開通に向けて高速道路から市内に誘客し、地域振興を図る仕掛けづくりの進捗はどうか。また、神話ルートやダム湖、国宝である銅鐸を商品化した魅力ある観光戦略を練り、市の中心部に位置する三刀屋木次 IC の活用を図ることこそ重要と考えるがどうか。</p> <p>⑥ 障がい者就労支援対策の充実強化と新庁舎への就労支援の場設置の所見を問う。</p> |        |

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式)      | 項<br>目             | 要<br>旨   | 備<br>考 |
|----------|----------|---------------------|--------------------|--|--------|
|          |          |                     | 3. 不登校対策について       | <p>⑦ 生活保護からの脱却に向けての就労支援・雇用の受け皿づくりに対する取り組みの所見を問う。</p> <p>① 不登校の実態に対する見解を問う。</p> <p>② 未然防止を含めた行政施策・支援の成果はどうか。また、学校に配置した教育支援コーディネーター、社会教育コーディネーターの果たした役割の評価はどうか。</p> <p>③ 廃校となる中野小学校を活用して、教育支援センターを充実、更には、フリースクールとして開校してはどうか。所見を問う。</p>   |        |
| 5        | 2        | 中 村 辰 眞<br>(一問一答方式) | 1. 特別支援学校分教室設置について | <p>(1)開校時の入学人数について</p> <p>① 平成 27 年 4 月開校予定だが、入学希望者が何人位想定されるか。学年別に。</p> <p>(2)建設地について</p> <p>① 新聞報道によると、三刀屋健康福祉センター前とあるが、正確な位置を示して欲しい。</p> <p>(3)通学の方法について</p> <p>① 雲南市の遠隔地および奥出雲町、飯南町に対してスクールバスの運行を考えているか。</p> <p>(4)寄宿舎について</p> <p>① 過去に松江特別支援学校に通わせた方から「寄宿舎に入れたら卒業後の自立に役立った」との声があった。当該学校の寄宿舎の併設予定はあるか。</p> <p>(5)障がい種別について</p> <p>① 開校時、入学対象となる障がい種別が「知的単一障がい」とあるが、対象範囲の拡大を考えてはどうか。</p> |        |

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式)       | 項<br>目   | 要<br>旨  | 備<br>考 |
|----------|----------|----------------------|--|---|--------|
|          |          |                      | 2. 防犯カメラ設置について   | (1)雲南市における設置状況について<br>① 雲南市における現在の防犯カメラの設置状況は。<br>② 防犯カメラ設置のプラス面とマイナス面は。<br>③ 市内に対して増設する意思はあるかないか。<br>④ 犯罪防止以外の活用法は何か。  |        |
| 6        | 4        | 矢 壁 正 弘<br>(一 括 方 式) | 1.財政健全化と景気浮揚策のバランスについて<br><br>2. 除雪等のあり方について<br><br>3.市立雲南病院について | (1) 財政健全化の前倒し達成にともなって景気浮揚を目的とした事業発注の予算配分が計画できないか<br>① 市庁舎の建設計画に伴いその他の事業予算が停滞する恐れはないか<br>② 合併特例債の今後の使用方針はどうなっているか<br>③ 特例債を積極的に利用して必要な施策実施にとりくめないか<br>(2) 地域の環境整備の積極的な促進について<br>① 改良や整備が進んでいる道路・水路等のインフラ整備が早期供用できるように優先順位の再確認ができないか<br>② 老朽化している市営住宅等の整備・建替え等、定住対策の点からも優先順位が高いと思われるが今後の方針は<br><br>(1) 除雪作業等の体制維持について<br>① 主要な市道等の除雪作業を担ってきた地元建設業界は就労者数の減少に歯止めがかからない状況であり、今後、除雪作業員の確保等について不足が生じてくることも考えられるが、今後の除雪体制のあり方について方針はあるか。<br>② あわせて、上水幹線の漏水修理や路肩除草、応急災害復旧といった迅速できめ細やかなサービスの維持確保の考えを伺う。<br><br>(1)予定されている改修工事について<br>① 運営体制、医療体制そして利用者・地元地域の声と多面的な情報集約が |        |

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式)      | 項<br>目                  | 要<br>旨  | 備<br>考 |
|----------|----------|---------------------|-------------------------|---|--------|
|          |          |                     | 4.幼・小・中学校の統<br>廃合計画について | <p>実施されていることと思うが、現状の方向性は。</p> <p>② 県のドクターヘリの発着場所等、現状の利用体制について今回の改修計画の中で連携強化等の方針等あるか。</p> <p>(1)統廃合計画について</p> <p>① 現在指針が示されている統廃合計画の進捗状況は。</p> <p>② 教育現場あるいはP T Aといった子育て世代の声が十分反映されているのか、またそのためにどのような取組がされているのか。</p>   |        |
| 7        | 6        | 多 賀 三 雄<br>(一問一答方式) | 1. 市長の政治姿勢に<br>ついて      | <p>(1)国政課題に関連して</p> <p>① 原発について、世論は「脱原発」が圧倒的多数である。「即時原発ゼロ」にすべきと考えるが、どうか。雲南市も立地自治体と同じ安全協定を結ばねば島根原発の再稼働すべきでないと考えるが、どうか。</p> <p>② 消費税について、地域経済や暮らしへの影響は。市の財政(収入・支出)はどうなると予想するか。市立病院や福祉施設は損税がどれほど発生するか。増税は実施すべきでないと考えるが、どうか。</p> <p>③ T P Pについて、どう対応してきたか、するのか。</p> <p>(2)大型プロジェクトについて</p> <p>① 庁舎新築より病院改修優先との市民の声・批判票をどう受けとめているか。この財政状況でどうするか。</p> |        |
|          |          |                     | 2. 教育・子育て支援<br>について     | <p>(1)子どもの医療費無料化について</p> <p>① 中学卒業まで進めるべきと考えるが、どうか。</p> <p>(2)教育予算の拡充について</p> <p>① 教職員にゆとりがない。「イベントより現場へ」の声が強い。支援員増員、長時間過密勤務解消など地道な施策で市教委の責任を果たすべきと思うが、どうか。</p>   |        |



| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式)   | 項<br>目                             | 要<br>旨   | 備<br>考 |
|----------|----------|------------------|------------------------------------|--|--------|
|          |          |                  | 3. 暮らし・営業支援<br>について                | <p>② 文科省調査によると天井や照明などの耐震対策はまだ3割とのことだが、雲南市の場合はどうか。</p> <p>(1)住宅リフォーム助成制度の継続・拡充について</p> <p>① 実績、効果を伺う。継続・拡充が望まれているが、どうか。</p>   |        |
| 8        | 10       | 高橋雅彦<br>(一問一答方式) | 1. 市民の知る権利、<br>言う権利、参加する<br>権利について | <p>(1)市長の3期目の取り組みについて</p> <p>① 選挙を通じて、2期8年の評価をどのようにとらえられているのか伺う。</p> <p>② 今後4年間、市民に対してどのようなことを意識して取り組まれるのか伺う。</p> <p>(2)市長選の争点の庁舎建設について</p> <p>① 庁舎建設計画について、市民がどのようにとらえられているのか伺う。</p> <p>② 今後、市民に対してどのような配慮をされるか伺う。</p> <p>(3)雲南市の政策立案過程における市民の知る、言う、参加する権利について</p> <p>① 情報開示と説明義務が求められる社会の中で、市民の知る権利に対し、どのような配慮がなされているのか。</p> <p>② 政策立案過程で市民が必要かどうか意見をいう機会や市と一緒にたって取組む機会がどう提供されているか伺う。</p> <p>③ 庁舎建設は市にとって大きな政策課題だが、市民にとっては経済対策や医療、福祉が大きな課題である。均衡ある政策運営が必要であり、地元企業で建設できる庁舎に改めるべきではないか。</p> <p>(4)雲南市総合計画について</p> <p>① 市議就任以来、合併後の視点で雲南市総合計画見直しを提案してきたが、新たな総合計画を作成する時期が近づいてきた。今後のスケジュールは。</p> <p>② 現行の総合計画の評価は市と議会のみとなっている。市民参加による総合計画樹立のためにも、来年度から市民参加の評価制度を導入すべきではないか。</p> <p>③ 現行、総合計画と実施計画が連動をしていない。総合計画に基づく実施</p> |        |

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式) | 項<br>目   | 要<br>旨  | 備<br>考 |
|----------|----------|----------------|--|---|--------|
|          |          |                | 2. 雲南省の青少年に<br>対する施策について                                     | <p>計画でなければならない中で、このタイムラグを次回解消されるのか伺う。</p> <p>(1) 雲南省の将来を考えた場合、青少年の社会参加の必要性について</p> <p>① 地元に住む高校生や20代、30代への市の施策は。</p> <p>② 勉強や個人情報などで対人関係が希薄となる世代であり、行政と地域が一緒になって取り組まなければ、高齢化が進行する雲南省を守ることができない。市役所の若手職員を中心に予算をつけて雲南省若者フェアなど取組ができないか。</p>  |        |
| 9        | 13       | 安井 誉<br>(一括方式) | <p>1. 農業・林業・畜産・<br/>産業振興について</p> <p>2. まちの活性化対策<br/>について</p> | <p>① 水田の荒廃、農業離れの進む現状である。水田を守り、農業の振興に当たって、今後どう考えるのか伺う。</p> <p>② 林業振興はバイオマス事業を中心に考えられているが、80%と言われる広大な山林をかかえる雲南省にとっては、他事業の取り組みも含め、拡大すべきと考えるがどうか。</p> <p>③ 畜産の取り組みについて、低水準の和牛育成策のひとつとして、優良種牛の導入、繁殖和牛の育成、技術職員の確保等が緊急課題である。取り組みはどうされているかを伺う。又、肥育牛の対策検討は(9月以降)どう進めておられるのか。</p> <p>④ 雇用対策は市内で働く場所の確保についてはぜひ必要である。企業誘致等その拡大に専門職員等をしっかり張り付け、その推進を図られたい。考えを伺う。</p> <p>① 中心市街地の発展と辺地には日の当たる均衡あるまちづくりが大切である。それを何を基本に今後進めていこうと考えているのか伺う。まちづくりの一環として、歴史・文化・資源を生かした雲南省づくりも考えられる。平和教育の推進と一部まちづくりの活性化として、永井記念館の改築は考えられないか。進めるならばいつ頃か伺う。</p> |        |

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式)    | 項<br>目                              | 要<br>旨   | 備<br>考 |
|----------|----------|-------------------|-------------------------------------|--|--------|
|          |          |                   | 3. 環境整備について<br><br>4. 今後の政策の方向性について | <p>① 安心安全なまちづくり、災害に強いふるさと作りを積極的に進めなければならない。道路の新設・改良・治山・危険箇所防止等の箇所数・金額を示されたい。教育施設、公共の建物等修繕を急ぐものの数、金額等を個別に示されたい。</p> <p>② それらお示し頂いたものの発注と営繕計画をどうされるか伺う。公共事業を積極的に進めると伺っているが、今後の方向性を伺う。災害復旧の早期発注を希望するが、現状はどうなっているか。</p> <p>① 合併して8年が経過した。これからは雲南市民の生きがい何を求めるかである。今日現在、東へ向かうか西へ向かうか実に検討、模索の現状である。市長はしっかりと方向と政策を打ち出す時期が来ている。三期目雲南市長誕生、副市長再任と力強くスタートされた。スタートするに当たり、決意を伺う。</p> |        |
| 10       | 3        | 原 祐 二<br>(一問一答方式) | 1. 情報発信について                         | <p>(1)速水市政の情報発信について</p> <p>① 市長選挙の反省として「情報発信力」の不足を述べられたが、三期目就任にあたりどのように情報発信をしていくのか。</p> <p>(2)雲南市における情報発信の意思決定と方法について</p> <p>① ホームページでの情報発信についての意思決定については、どのように決定するのか。</p> <p>② 市長選挙及び市議会議員選挙についての速報及び結果は何故ホームページを利用しないのか。</p> <p>③ 雲南市立病院建設基本構想(案)のパブリックコメントの実施については、どのような方法により行われたのか。</p> <p>④ パブリックコメントの意見者が2人、6件と少ないが、情報発信の方法に反省点はないか。</p>                         |        |

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式) | 項<br>目        | 要<br>旨   | 備<br>考 |
|----------|----------|----------------|---------------|--|--------|
|          |          |                | 2. 地域自主組織について | (1)地域自主組織の支援について<br>① 全国でも先駆的な地域自主組織に今後期待することは何か。<br>② 行政としての今後の重点支援は何か。<br>③ 地域自主組織の合併による効率化は今後必要ないか。必要な場合は、行政としての指導をしていくのか。<br>④ 雲南市総合計画 実施計画による平成28年度までに拠点施設の建替えを予定している施設はどこか。<br>⑤ 自主組織の活動拠点である交流センターの備えるべき施設とその規模はどう考えているか。<br>⑥ 今後は交流センター整備の建設基準を人口、世帯、災害時の避難施設としてのランクにより定めるべきではないか。 |        |
|          |          |                | 3. 地域振興について   | (1)地元企業、商店の振興について<br>① 市内の消費需要を高めるための支援については、平成25年度予算においても重点的な配分をしていくのか。<br>(2)地元企業、商店の育成について<br>① 雲南市が市外企業や商店に発注する契約について、市内の消費需要を高めるため地元企業や商店を育成し受注出来る様にすべきではないか。   |        |
| 11       | 15       | 細田実<br>(一括方式)  | 1. 市長選挙について   | (1)市長選挙を闘った感想は。<br>① 速水市長は初めて対立候補との選挙戦を闘われての感想はいかに。<br>(2)結果をどのように受け止めているか。<br>① 6割の得票数(4割の反対票)をどのように受け止めているか。<br>(3)4割の反対票をいかに市政運営に生かすのか。<br>① 市政の発展のために反対意見、批判を受け止めて市政に生かすことが大切と思うがいかに対処するか。   |        |

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式) | 項<br>目       | 要<br>旨   | 備<br>考 |
|----------|----------|----------------|--------------|--|--------|
|          |          |                | 2. 市政の課題について | (1)市長は市長選挙で7つの約束をされたがどう進めていくか。<br>① また、所信表明でも述べられたが、この8年間を見ると容易なことではない。どのように取り組むか。   |        |
|          |          |                | 3. 原子力発電について | (1)所信表明での「将来原発に頼らない社会の現実」について<br>① 将来とは漠然としているのが、いつの時点を指しているのか。<br>② 原発に頼らない社会実現に向けどのような取り組みを行うのか。<br>③ 原発に頼らない社会のためには島根原発1,2号機の再稼働を止めさせ、3号機を稼働させないことがまず大切と思うが、どのように考える。<br>④ 原発を考える文化講演会は「原子力村」からの講師でないことを願うが、どのように考えているか。<br>(2)原子力災害対応について<br>① 島根県から雲南市民の広域避難計画が地域別に示された。雲南市の地域防災計画を早急に取りまとめると表明されているが、目途はいつか。バス確保、避難ルートの確保のめどはあるか。<br>② 来年1月の原子力防災訓練の内容(規模等)はどのように行なわれるのか。<br>(3)セシウムを含んだ堆肥問題について<br>① 堆肥の撤去を求められていると思うが、早急な対策をとるべきではないか。 |        |
|          |          |                | 4. 新庁舎問題について | (1) どのような新庁舎を建てようとしているのか。<br>① 市長選挙では争点となり市民の関心も高い。現在の進捗状況と基本設計の考え方は<br>② 中央部分に吹き抜けの庁舎を考えられているようだが、熱気の吹き溜まりとなるのではないか。三刀屋中学校の二の舞にならないか。室温、光熱費の設計はされているか。  |        |

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式)    | 項<br>目                 | 要<br>旨  | 備<br>考 |
|----------|----------|-------------------|------------------------|---|--------|
|          |          |                   | 5. ケーブルテレビの<br>運営について  | (1)ケーブルテレビの編集と組織体制について<br>① 飯石情報通信協会に係る問題で議会へ報告があったが、組織のあり方を整備すべきではないか。   |        |
| 12       | 17       | 堀 江 眞<br>(一問一答方式) | 選挙戦を終えて<br>1. 定住対策について | 市長所信表明での「それぞれの生活の場で安心安全な暮らしが営まれるための市政運営を行いたい」について<br>① 隅々まで行かれ実情を見られたと思うが、感想を伺う。特に感じた点を伺いたい。<br>② 歩行に介助が必要なお年寄りが長い坂道を歩かれる姿を見た。またデイサービス時には同居家族がおんぶして道路まで出られると言うお話も伺った。玄関最寄りまで軽自動車や車いすが入らないお宅が市内にどれくらいあるか。居宅介護・防災上・定住対策として対応が必要ではないか。家屋改修と同様に道路改修に助成など対策が必要ではないか。<br>③ 行き止まり道路のその後の解消状況と対策を伺う。少しは進行しているのか。計画が実施されるまでに途中に待避所・最終地点もしくは途中に回転場を設置する等必要が有ると思う。旧町村時代の末端2戸、1戸など、考え方を変更して定住対策として対応する必要があると思うが考えを伺う。<br>④ 水道の普及率と現状を伺う。<br>水道計画区域以外の個別井戸で対応して戴いているお宅のアフターケアはどうなっているか。<br>⑤ 高速バス運行と連絡便について。<br>出雲・松江 市内各病院へ行くためのパターンを示すなど、分かりやすい説明が必要。市民に説明して戴きたい。デマンドバスとの関係。<br>高速バスは予約が必要ではないか。乗車拒否されることはないか。 |        |

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式)      | 項<br>目       | 要<br>旨  | 備<br>考 |
|----------|----------|---------------------|--------------|---|--------|
|          |          |                     | 2. 農業の振興について | <p>(1)優良米の適正評価と買い入れについて<br/>雲南 J A 管内で奥出雲町 飯南町産のコメと雲南市内のコメの買い入れ価格が 250 円違う。同じ優良米で同じ J A に所属しているにも関わらず買い入れ価格が違う事に不満が出ている。</p> <p>① このシステムについてどこで決定されているのか 分かりやすく説明を求める。</p> <p>② 優良米は同じ評価を受けるべきと思うが、市内産優良米が正当な評価を受けていないことに市長としてどう思うか。原因と対策を伺う。</p> <p>(2)セシウムを含む堆肥のその後の対策状況について</p> <p>① 今でも J A の問題か</p> <p>② どのようにするつもりか</p> <p>③ 国で廃棄基準とするセシウムの安全基準 8000 ベクレルと、この辺りで安全基準と言う 400 ベクレル以上・以下のベクレルは同じ単位か？</p> <p>④ セシウムを含まない堆肥についても風評被害で滞留していると聞く。早急に対策を講じる必要が有ると思うがどうか。</p> <p>⑤ 長崎全共の反省を踏まえて畜産を強化することだが、大丈夫か。牛が育つ・育てる環境か。</p> |        |
| 13       | 16       | 山 崎 正 幸<br>(一問一答方式) | 1. 産業振興について  | <p>(1)畜産振興について</p> <p>① 長崎全共を振り返っての総括と所見を伺う</p> <p>② 肥育センターの現状と今後の方針は。</p> <p>③ 汚染堆肥の処理状況と今後の対応は。</p> <p>(2)農業について</p> <p>① 雲南市の 8 年間の農業施策の取り組みに対する所見を伺う。</p> <p>② 圃場整備及び暗渠配水事業の推進に対する考えは。</p> <p>③ 戸別所得保障制度についての評価について考えは。</p>   |        |

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式) | 項<br>目                                  | 要<br>旨  | 備<br>考 |
|----------|----------|----------------|---|---|--------|
|          |          |                | <p>2. 市長・市議選について</p> <p>3. 公共交通について</p> | <p>④ 一等米比率が年々低下しているが、原因と対策は。</p> <p>⑤ カントリーエレベーターの利用状況は。</p> <p>⑥ つや姫の今後の推奨に対する考え方は。</p> <p>⑦ 米の仮渡金について伺う。</p> <p>(3)森林バイオマスについて</p> <p>① 間伐材の収集状況及び里山券（地域通貨）の発行状況と課題は。</p> <p>② 里山券が地域経済に及ぼした経済効果は。</p> <p>③ 課題は路網整備と考えるが対策について伺う。</p> <p>④ 今後の事業推進についての考えは。</p> <p>⑤ 雲南市の80%を占める森林の活用についての考えを伺う。</p> <p>(1)投票率の低下の原因は。</p> <p>(2)身近な選挙は投票所数を拡大すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3)選挙立会人は地域自主組織等に協力依頼する考えはないか。</p> <p>(4)類似団体と同様な選挙公営を求めるが考えは。</p> <p>(1)市民バスの利用状況と課題は。</p> <p>(2)市民バスの利用促進と減便の計画があるか。</p> <p>(3)デマンド方式の導入の取り組み状況と考え方は。</p> |        |
| 14       | 12       | 土江良治<br>(一括方式) | 1. 限界集落対策について                           | <p>(1)本市にも「限界集落」が30余地区、また「危機的集落」も出現し、その対策が急がれるのではないか。</p> <p>① 23年度市内全域の空き家調査結果から何を感じ、今の定住対策推進員のあり方などに更なる改善策はあるのか。</p> <p>② この調査で、伝統的建造物や古民家に値する物件はあったのか。</p>   |        |



| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式) | 項<br>目                        | 要<br>旨   | 備<br>考 |
|----------|----------|----------------|-------------------------------|--|--------|
|          |          |                | 2. 「神話博しまね」<br>の成果と課題につ<br>いて | <p>③ 定住促進目的に調査されているが、滞在型も考えられないか。</p> <p>④ 空き家近くの耕作放棄地を整備し、一緒に提供することにより、耕作放棄地解消や有効利用につなげることはできないか。</p> <p>⑤ 移住者向けのガイドブックを作成し、首都圏で開催するいろいろな催しの際、あるいは、ふるさと納税者に送付し、移住者の呼び込みなどにつなげているのか。</p> <p>(1)雲南市への入込客数の当初想定と現実はどうであったか。</p> <p>(2)雲南市の魅力発信や観光振興での連携等課題として浮き彫りになったものは何か。</p> <p>(3)国道 54 号への取り込みに参考になったものはあったか。</p> <p>(4)観光ガイドの果たした役割は。</p> <p>(5)この催しを一過性にしないための方策はどのような事が考えられるか。</p> |        |
|          |          |                | 3. 国道 54 号への集<br>客対策について      | <p>(1) 国道 54 号「利用促進対策」のその後の取組は。</p> <p>(2)国道 54 号への集客対策の一環として特徴ある季節限定の温泉活用方法について。</p> <p>①和歌山県牟婁郡北山村では花粉症に苦しむ人達に柑橘類の「ジャバラ」を栽培し、食料品に使うかたわら、この皮を“ジャバラ風呂”として花粉症患者に好評を博している。泥縄であるが“雲南の温泉に行けば花粉症が治る”となれば入込客が増える。この「ジャバラ」栽培に取り組むのはどうか。</p>   |        |
|          |          |                | 4. ふるさと納税につ<br>いて             | <p>(1)ふるさと納税額の現況は（これまでの状況と今年度の状況）</p> <p>(2)あらためて納税者には特産品を贈る「特典作戦」について伺う。</p>  |        |

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式)   | 項<br>目  | 要<br>旨   | 備<br>考 |
|----------|----------|------------------|---|--|--------|
| 15       | 14       | 福島光浩<br>(一問一答方式) | 1. 3期目の行政経営<br>方針について<br><br>2. 子育て支援につい<br>て | <p>(1)市民との約束について</p> <p>① 市長は「一歩、一歩、着実な歩みを進める」と7つの約束を交わされた。それぞれに具体的な目標設定・目標数値があるのか。また、最優先された公約は何だったのか。</p> <p>② 財政非常事態宣言の解除が行政経営に与える影響について、わかりやすい説明を求める。</p> <p>(2)情報公開と行政組織の見直しについて</p> <p>① 市長は「徹底した情報公開・真の情報公開」という言葉を発し続けてこられたが、「情報発信・情報共有が足りなかった」と自身で評価されていた。今後の具体的な取り組みは。</p> <p>② 予算編成過程の公開は、「協働のまちづくり」を進める上で非常に重要な位置づけになると考える。その認識があるのか。あるとすれば具体的な対応策は。</p> <p>③ 行政組織の見直し・整理の必要性を強く感じているが、考えは。</p> <p>(1)子育て世代・家庭支援策について</p> <p>① 来年度から、義務教育期間中の医療費無料化にむけた制度拡充を図るという指針が示された。決定までの検討経過、大まかな事業費の予測、求める効果と評価の仕方は。</p> <p>② 子育て世代の意識調査や県内他市の施策をみても、市の多子家庭への支援は手薄である。支援策を早急に講ずるべきと考えるがどうか。</p> <p>③ 国の動向をみても、児童クラブの役割は益々重要になってきている。現状をどう認識し、どの様に事業を展開していくのか方針は。</p> <p>(2)子どもを中心とした地域の元気力アップ・地域力の醸成策について</p> <p>① 少子化、進む学校の統廃合、また家庭環境の変化により、子どもを取り巻く地域社会は劇的に変化してきている。土曜日の学校を利用した地域の社会教育の体制づくりを進めてはどうか。</p> |        |

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式)   | 項<br>目                | 要<br>旨   | 備<br>考 |
|----------|----------|------------------|-----------------------|--|--------|
|          |          |                  | 3. 高齢者支援について          | <p>② 長期休業中の子ども達の居場所づくりは、取り組みを強化すべき喫緊の課題であるとする。様々な連携・交流が生まれている島根大学との縁を生かしながら、地域と一緒にサマースクール・ウィンタースクールを計画してはどうか。</p> <p>(1)生活環境支援について</p> <p>① 買い物支援協議会での協議の中でみえてきた、高齢者の生活環境に関する課題をどう捉えているのか。</p> <p>② 「人」・「命」・「想い」に寄り添う福祉関連施策は、行政が仕組みとして行うのが非常に困難になってきている。家族の復権が大前提であるが自主組織を中心とした地域の役割は大きい。地域だけでなく思いのある団体などが、ある程度自由に事業を展開できる環境を整備する必要があると考えるが、認識と方針は。</p>                      |        |
| 16       | 9        | 周藤正志<br>(一問一答方式) | 1. 「市民目線・市民感覚」の市政に向けて | <p>(1)本庁舎建設について<br/>これから50年「安心安全」の防災拠点でなければならないが、将来世代に対し、それをどう担保していくのか。納得出来る具体策を示し、説明責任を果たすべきだ。</p> <p>(2)待機児童解消と幼保一体化(認定こども園)について</p> <p>① 24年10月時点の待機児童は10名。「子育てするなら雲南市」であるためにも来年(10月)にはゼロとしなければならない。どう対応するのか。</p> <p>② 幼稚園の預かり保育は今後どうしていくのか。</p> <p>③ 老朽化・狭隘の木次保育所を廃し、一体的な「木次こども園」整備を近い将来図るべきであるがどうか。</p> <p>(3)高齢者に対する施策について<br/>超高齢化社会(2020年高齢化率40%)を前にして、高齢者にやさしいま</p> |        |

| 質問<br>順位 | 議席<br>番号 | 議員氏名<br>(質問方式) | 項<br>目                         | 要<br>旨  | 備<br>考 |
|----------|----------|----------------|--------------------------------|---|--------|
|          |          |                | 2. 健全財政と地域底<br>上げ策の両立につ<br>いて  | ちづくりの施策が不十分で遅いのではないか。移動・買い物支援、気軽<br>に集える場づくり、サービス付高齢者住宅、施設待機者解消などにどう<br>取組んでいくのか。<br>(4)空き家対策について<br>中心連担地でもたくさんの空き家がある。空き家を適正に管理したり、<br>空き家解消のための対策を講じなければならないがどうか。<br><br>(1)来年度予算編成と中期財政計画の策定に当たって<br>① 市長選を踏まえ、どこに重点を置いて予算編成を行うのか。<br>② 市民生活の実態を直視すれば、現行の繰上償還の考え方は見直すべ<br>きだ。<br>③ これまでの中期財政計画は普通建築事業を調整弁とした机上論で<br>意味がない。市民生活に沿った現実的なものであるべきだ。 |        |
|          |          |                | 3. 速水市政 3 期目の<br>スタートにあたっ<br>て | (1)市長の政治姿勢について<br>1 万票余の批判票を減らしていかなければならないが、何をどう変えて<br>いくのか。  |        |